

何故を5回考える

トヨタ方式でアクティブラーニング

成長・貢献・感謝

羽地中学校
学校だより 79 号
R1. 8. 21



8月19日(月)、羽地中学生徒会リーダー研修会を参観しました。夏休み期間中でしたので、久しぶりの制服姿と生徒の皆さんの元気な表情が見られて、新鮮でワクワクした気持ちになりました。

8時半の開講式をすませ、早速研修に入りました。研修1は、「リーダーとは何か」と題して、去年まで

技術家庭科を教えていただいたK・M先生に、リーダーの意味や役割、見方・考え方についてご講話をいただきました。

お話だけでなく、ゲーム感覚で解くワークシヨップもたくさん準備されて、楽しくてユニークなご講話でした。

私が、最も勉強になったのは、「無言で解く5つの正四角形」と「コミュニケーション」を使って学校の教室配置を解く」そして「トヨタ方式で5回考える」でした。

どれも一人だけで考えたり、解いたりするのはなく、グループで話し合い、見方・考え方を広げ、解決の糸口を見いだしていく課題解決型のスキル研修でした。

大切なことは、課題の見つけ方と課題解決の方法です。

リーダーは常にアンテナを掲げ、情報を収集しなければ、集団の課題を見つけている「本当の原因」にたどり着くまでは5回の何故を繰り返し問う「トヨタ方式」は正に、新学習指導要領が謳っている「主体的・対話的で深い学び」につながる見方・考え方であり、沖縄県教育委員会が提唱するめざす授業像「他者と関わりながら、課題の解決に向かい「問い」が生まれる授業」であるでしょう。リーダーの皆さんは楽しんで学んでいました。

M先生ありがとうございました。

羽地中学生徒会重点目標

1. 専門委員会の活動を活発に取り組む学校
2. リーダーを中心に盛り上がる学校

研修2では、研修1の内容を受けて、羽地中の学年の問題・課題発見と解決方法を探る話し合いの時間でした。感心したのは、まず、課題発見のために授業や学校生活で困ったことを学年・学級のアンケートから拾い上げる試みでした。情報収集としての必要量のアンケート調査は大変有効な方法です。

アンケートの結果で明らかになった課題を受けて、二期からの学年のめざす方向や取り組み方が提案されました。二期からの学年の取り組みに期待したい。

研修3では、同じように学校全体の課題を拾い上げて話し合い、次回の中央委員会以降から議題に取り上げて取り組む方針を生徒会執行部で決めたようです。

リーダーの皆さんの二期の活躍に期待します。リーダーの皆さん、先生方、リーダー研修会お疲れ様でした。

